

# 喜多流自主公演

平成二十九年一月

平成29年 1月8日(日)

12:00開演(11:00開場)

## 十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階栈敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

助成:文化庁(平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)



賀茂出雲 雲林院 香川靖嗣

### チケット予約購入のご案内

#### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

##### ② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

#### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

##### ② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

##### ③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

#### 窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

### ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

### 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

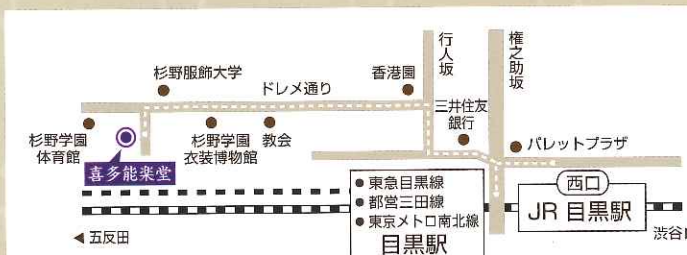
- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
  - ・追加料金はかかりません。
  - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
  - ・年間優待券のみでの観能はできません。
  - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

### 自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階栈敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

### 会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>



能

後シテ連天女谷 友矩  
前シテ連里女 大島輝久

後シテ別雷神  
前シテ里女 出雲康雅

### 賀茂

ワキ神職 殿田謙吉  
ワキ連従者 則久英志  
ワキ連従者 梅村昌功  
アイ賀茂明神の末社 山本凜太郎

大鼓 柿原弘和 太鼓 梶谷英樹  
小鼓 鶴澤洋太郎 笛 杉 信太郎

後見 内田安信  
高林昌司

地謡 塩津圭介 谷 大作  
栗谷充雄 中村邦生  
高林呻二 栗谷明生  
粟谷浩之 長島 茂

狂言

### 末広

シテ果報者 山本則俊

アド太郎冠者 山本則秀  
アド売り手 山本泰太郎

休憩(二十分)

仕舞

### 鞍馬天狗

友枝昭世

地謡 友枝雄太郎  
佐藤寛泰  
長島 茂  
佐藤 陽

能

### 雲林院

後シテ在原業平の霊  
前シテ老人 香川靖嗣

ワキ蘆屋公光 宝生欣哉  
ワキ連従者 大日方 寛  
ワキ連従者 野口能弘  
アイ北山辺の者 山本則重

大鼓 佃 良勝 太鼓 小寺佐七  
小鼓 観世新九郎 笛 一噌幸弘

後見 塩津哲生  
狩野祐一

地謡 友枝真也 友枝雄人  
内田成信 大村 定  
金子敬一郎 栗谷能夫  
佐々木多門 狩野了一

附祝言

終了予定時刻 四時過ぎ頃

#### 賀茂(かも)

播州室の明神に仕える神職が賀茂明神に参詣する。近くの川辺を見ると、注連縄を張った壇に白羽の矢がたててある。そこに水汲みに来た里女が現れる。里女は、この矢はご神体であるといい、その謂れを語る。昔この賀茂の里に住む秦氏の娘が賀茂川で神に捧げる水を汲んでいると、白羽の矢が一つ流れて来て水桶に入った。娘は拾い上げ家の軒に挿すと、夫がいないのに娘は身籠り、男の子を産んだという。娘の両親が人々を集め三歳になった男の子に父を尋ねると、男の子は一座の誰も指さずに軒に挿してある矢を指した。すると矢はたちまち雷となり、天に昇って神となった。そして母は御祖神、子供は別雷神となり、これこそが賀茂三所の神であると語り、汲んだ水を提供する。やがて神職が女に正体を糺すと、神徳を示すために現れたと言つて姿を消した。(中人) 御祖神は天女の姿で現れ、そして別雷神は雷神の姿で現れ、それぞれ五穀成就を祈り国土を守る神威を示して舞を舞うのであった。

(約九十分)

#### 末広(すえひろ)

「末広」とは、閉じた時にも先が広がっている扇子のことで、目出度さの象徴である。宴会の引き出物にしようと思いついた主人から、都に買いに行くよう命じられた太郎冠者だが、「末広」が何かを知らない。「末広はないか」と呼んで歩く太郎冠者に目を付けた怪しげな都の男は、自分こそ「末広」を商う者と名乗り出る。主人の出した四つの条件「上質の紙」「上細工の骨」「丈夫な要」「さっぱりした戯画」にぴったりと、男が差し出した物とは…。

(約三十分)

#### 雲林院(うんりんいん)

摂津国蘆屋の里の公光(きんみつ)という人は「伊勢物語」の愛読者だった。ある夜のこと霊夢を見て、紫野の雲林院へ参る。訪ねると桜の花が咲き乱れており、一本枝を折ったところへ「心なきものよ」と咎める老人が現れる。しかし公光は乞うも盗むも心あつてのこといずれば散る花ではないかという。老人は無情の風は花を散らす枝のまま折るべきではないとたしなめる。二人は桜を詠んだ古歌をうたいあつて春の風情を惜しむ。公光は霊夢に導かれて来たこと告げると、老人は自分が在原業平であるとはめかして消えて行く。(中人) やがて朧の月影に仮寝する公光の前に在原業平の霊が現れる。業平の霊は伊勢物語を愛する公光の心に感じ、伊勢物語の秘事を伝える。そして二条の后との恋を物語り、昔を思い返して優雅に舞い、姿を消す。

(約百分)

### 平成二十九年二月自主公演番組予告

平成二十九年二月二十六日(日)正午始  
十四世喜多六平太記念能楽堂

東北 友枝 昭世  
春日龍神 塩津 圭介